

# 令和 8 年度長野県のがん対策について

R8.3.12

疾病・感染症対策課

# ①対策型胃がん検診に係る内視鏡検査導入の推進（がん検診）

## 【事業の背景】

- ・厚労省の指針改正により、平成28年4月から市町村の対策型胃がん検診に内視鏡検査が追加され、県内では令和6年度までに以下の地区で導入されている。
- ・須高地区(H28)、長野市(H30)、中高地区(R2)、上伊那地区(R4)、千曲市及び坂城町（R6）

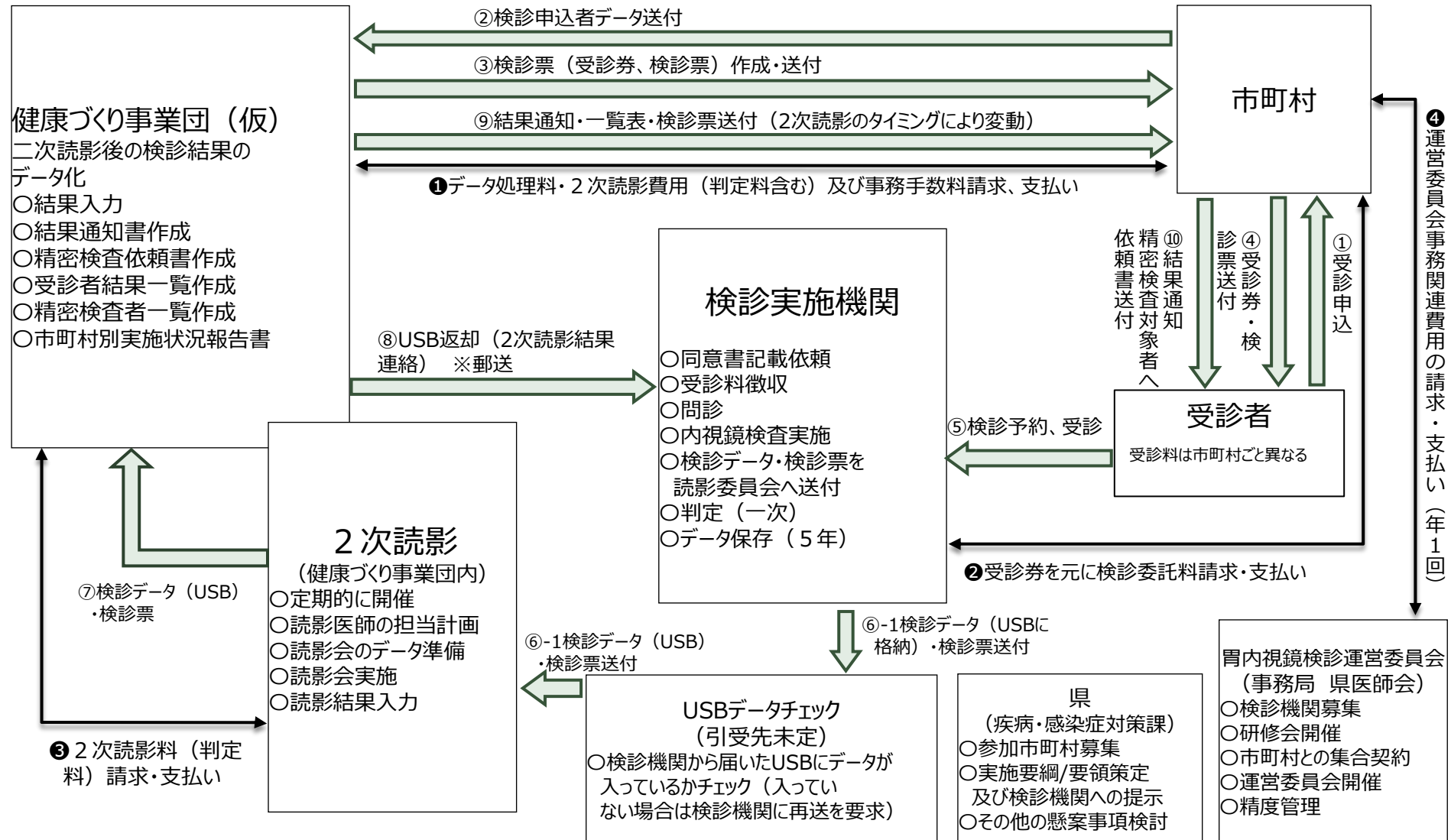
【参考】胃内視鏡検診の実施状況（R5アンケート結果）

回答	市町村数
実施	28
未実施	48
回答なし	1

- ・県では、胃内視鏡検査の広域化を「市町村間相互乗入れ制度」の枠組みを活用して、令和9年度に開始することを目指している。

# ① 対策型胃がん検診に係る内視鏡検査導入の推進 (がん検診)

## 長野県 胃内視鏡検診の流れ (案)



## ②長野県がん登録事業報告書の概要版作成（がん登録）

### 【事業の内容】

- ・100ページを超える「長野県がん登録事業報告書」をA4サイズ2～4ページ程度の概要版にまとめ、県民に興味を持ってもらえるような内容とする。

### 【活用例】

- ①作成した長野県がん登録事業報告書及び概要版をプレスリリースを行い広く県民に周知。
- ②がん診療連携拠点病院等に配布し、検診センター等県民が目にする場所に設置してもらう。
- ③がん対策推進企業等連携協定（538社＋77市町村）に概要版のデータを提供し、従業員や顧客地域住民に情報提供していただく。

### ③がんピア・サポーター養成研修 (がん医療)

#### 【事業の目的】

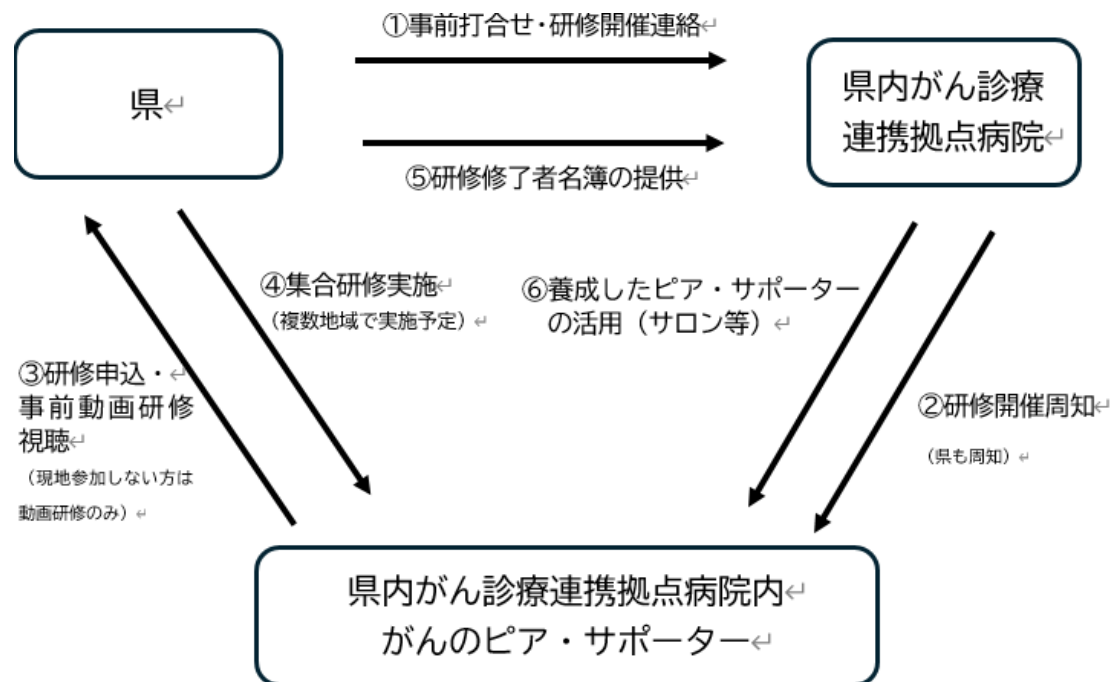
※ピア・サポーター・・・がんを経験した本人または家族等で、同じ立場の仲間（ピア）として、他のがん患者や家族を支える人

- ・がん診療連携拠点病院が、患者サロン等の場において一定の研修を受けたピア・サポーターを活用できるよう、県全体での養成研修を実施する。

#### 【事業内容】

- (1) 研修内容 ピア・サポーターとしての、事前知識・患者とのコミュニケーション方法、心構え等
- (2) 対象者 がん診療連携拠点病院等でピア・サポーターとして活動を希望する者
- (3) 実施 動画による事前研修（6コンテンツ3時間程度）＋集合研修

#### 【実施の流れ】



←厚生労働省から養成研修事業の委託を受けている日本サイコロジ学会から研修資料の提供を受ける。

## ④ 「ガチなが」による寄付募集（その他）

みんなで「がん」に対する意識を高めよう！～がんと向き合う啓発事業に活用します～

### 【寄付の目的】

- ・県のがん対策への寄付を通じて、県民のがんに対する関心を高める。
- ・寄付金を活用し、県民の健康意識の向上、がん検診受診率の向上、治療と仕事の両立支援の促進等を図り、健康長寿の維持・発展につなげる。

### 【募集開始】

令和8年3月16日（月）から【予定】

### 【寄付の使途】

- ・がん検診受診率の向上に向けた各種啓発活動費用
- ・治療と仕事の両立支援を促進するため、企業への啓発活動費用やがん相談支援センターで活動するピア・サポーターの養成研修開催に係る費用 等

◇「ガチなが」とは  
県直営の『共創型』ふるさと納税受付サイト。  
寄付金の使途を明示したうえで、返礼品に頼らず、県施策への応援  
や共感による寄付を募集しています。

<https://www.gachi-naga.jp/>

ガチ  なが

長野県直営 共創型ふるさと納税受付サイト

ガチ（本気）でより良い長野県を皆さまと共に創るサイト